

カミナリ ゴロ・ゴロ カフ隊のお日さま・サン・サン

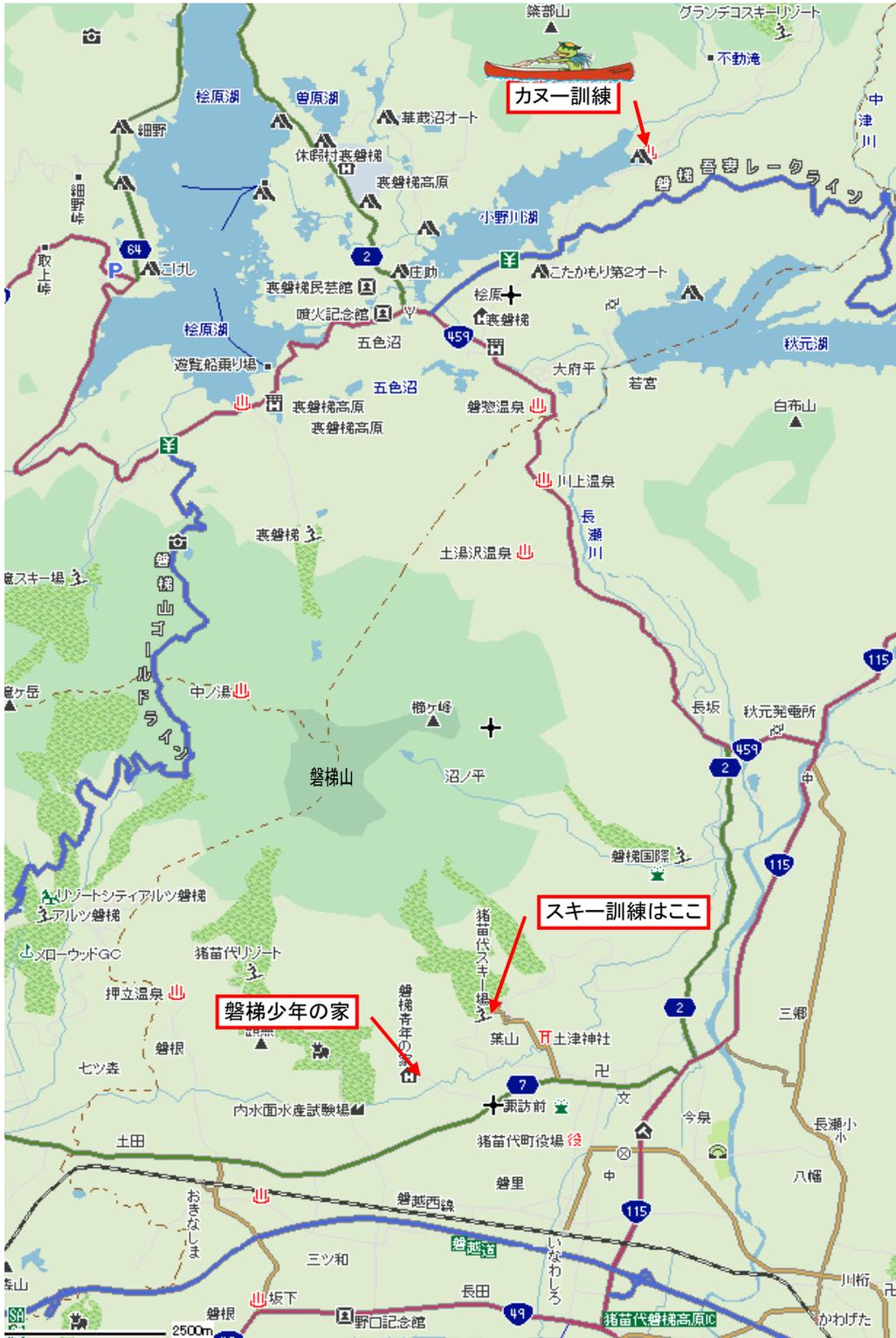


独立行政法人
国立青少年教育振興機構
国立磐梯青少年交流の家

2008.8.29~31

山賊キャンプ Bandit

2008年今年のキャンプは、「磐梯青少年交流の家」です。いつもはスキー訓練でお世話になっていますが、雪景色しか見たことがないので、「夏の磐梯は、どげんなもんじゃろか？」と言うわけで、決定しました。夏休み最終の週末です。スカウトたちは、宿題は終わってんだべか！心配である。でも、決めちゃったからにはしょうがあんめい！まあ！思い切り楽しんで帰ろう！



と、思いきや、牛久は昨晚からの大雨と落雷です。6:30刈谷自治会館に集合して、バスにて、つくば牛久IC(圏央道1.5^キ)⇒つくばJCT(常磐自動車道136.6^キ)⇒いわきJCT⇒磐越自動車道97.6^キ)⇒猪苗代磐梯高原IC経由で、最初のプログラムであるカヌー訓練の小野川湖畔キャンプ場に向かう、総走行距離約270キロの移動である。福島県に入ると雨も収まり、たいした渋滞もなく無地到着。キャンプ場は、スキー訓練での宿営地の、磐梯青年の家である。キャンプ場とカヌー訓練・スキー場の位置関係は、右の地図を参考にしてください。ボーイ隊娘スカウトも、10^キハイクの訓練と、デンコーチと隊付として参加です。今回のキャンプでは、リーダーのサプライズ(お馬鹿な?)企画もあり、どげなキャンプになったのでしょうか!?恒例のカヌー訓練は、水郷小見川少年自然の家のハーバー(池?)で、ダブルブレードパドル(両方にブレードの付いた物)のカヌー(正式にはカヤック)ですが、今回は、雄大な自然の中で、ワイルドにシングルブレードパドル(片方だけブレードの付いた物)のインディアン(カナディアン)カヌーに挑戦だー!この味を覚えたら、小見川には行きたくなるのでは?心配だなー!

活動報告をお待ちの、スカウト諸君及びリーダー・団役員・ご父兄・おじいちゃんとおばあちゃん、そして香港へ単身赴任中のおとうさん、M副長ワールドへご案内いたします。なんてね！インターネットで、全世界に発信されているのだ！



6:30刈谷自治会館に集合！ 昨夜から雨とカミナリ状態である。これは、ゆふ将軍(ボーイ隊長命名)の影響である。

車中で行程と、諸注意事項の説明を行う。プログラムを実施できるか不安を残しつつ出発である。



ゆふ将軍(ゆふしょうぐん)とは、厳しい天気の様子を俗人化した表現。牛久4団のカブ隊副長の一人で、活動に参加すると高確率で、異常気象を呼ぶ。冬季のスキー訓練では、ピーカンだったのに突然吹雪を呼び、通常期は雨を呼ぶ。牛久4団では、ゆふ将軍が到来すると聞くと、いくら晴れていても雨具を必ず準備する。ゆふ将軍は三雪四雨となって現れる。異常気象封じのため、M副長作成の活動用作業帽のデザインは、テルテル坊主となっているが、効果はいまいちであるようだ。

参照 * 冬将軍(ふゆしょうぐん)とは、厳しい冬の様子を擬人化した表現。日本では特に、冬季に周期的に南下する北極気団(シベリア寒気団)を指す。日本では、冬将軍が到来すると、日本海側に強い降雪をもたらす、太平洋側では乾燥した北西風が吹き荒れる。標高の高い関東山地を越え雪雲が東京に流れ込むことは少ないが、回廊のような地形である関ヶ原は雪雲の通り道となり、名古屋周辺の地域に降雪をもたらす。朝鮮半島や中国東北部では、冬将軍は三寒四温となって現れる。

* あくまでも、M副長及びボーイ隊長のイメージを基に映像加工してあります。



磐梯山のような。* 写真が青味がかっているのは、バスのガラスの色のせいです。

スキー訓練のゲレンデ。

インディアンカヌー訓練



小野川湖に到着。「き・き・奇跡だ！」「なんと！晴れてきたではないか！」ボーイ隊長は、自称晴れ男であるが、いままでゆふ将軍の勢力を、完全に封じ込めることは出来ていない。ゆふ将軍を上回るパワーを持ったリーダーが他にいるのか？今年より参加のH副長補が「晴れ女」なのか？今後、プログラム計画のために、勢力分析を行わなければならぬぞ！

カヌー

カヤック

M副長のうんちくコーナー

今回は、インディアンカヌーに挑戦だ！

カヌーとカヤックは厳密にいうと違う乗り物ですが、日本ではカヌーもカヤックも含めてカヌーと呼ぶことが多いようです。カヌーとカヤックの大きな違いは、カヌーはシングルブレードパドルを使用して、左右どちらか片側だけを漕ぎ、カヤックはダブルブレードパドルを使用して、左右を交互に漕ぎます。

小見川でのカヌー訓練は、カヤック訓練と呼ぶのが正式である。

インディアンカヌー(カナディアンカヌー)：カナダインディアン(北米のインディアン)が湖沼の移動に使っていたためこの名称になったそうである。おや？インディアン。今回、山賊キャンプのはずだが、まあ、良いか！上達するとJストロークといって片側だけを漕ぐことでも進行方向を変えられるようになります(カッコいい)。



ライジャケを装着し、インストラクターより操船の指導を受けます。なんじゃこれ？M副長の手が写ってしまった。



準備体操後、出向だー(現在M副長は状況)。いや、出航だー！Y副調停はこのあと木の枝に座礁する。



こちらの艇は、迷走状態である。早めの方向修正が大事なのである。



M副長艇、携帯電話で、映画「カリビアン・パイレーツ」の主題歌を流しながら他船に不気味に近づいたのであった。



ボート部出身の、ボーイ隊長艇。さすが、なかなかやるではないか！



M副長艇。ボーイ隊のスカウト2名は、完璧に漕いでいると思込んでいるが、後ろでM副長が舵取り(微調整)をしているのだ。



入江にて、インストラクターから、細かな操船技術を教わります。



Y副長は、座礁したため、精神を注入。「海軍将校戦闘帽」の着用を命じられる。



昼食は、湖畔で、バーベキュー。リーズナブルながら、おいしい牛肉を頂きました。



焼きソバまで、付いていて「もう、お腹いっぱい、苦しい！」

昼食も終わり、午後からはカヌーでツーリングに出かけます





海賊団親分こと、カブ隊長である。海賊帽は100円ショップで調達品である。



またもや、「カリビアン・パイレーツ」の主題歌で忍び寄るM副長艇。



海賊の親分艇だが、親分が奴隷のように漕がされている。「エイ、コーラー・エイ・コーラー」



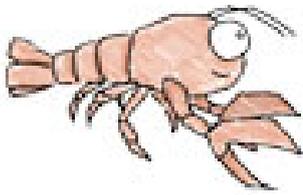
海賊団の親分が、チビ親分に代わってしまったぞ！右側はインストラクター艇。



インストラクターから、磐梯山噴火や、小野川湖について説明を受けています。全長2m級の鯉や、巨大ザリガニがいるそうである。

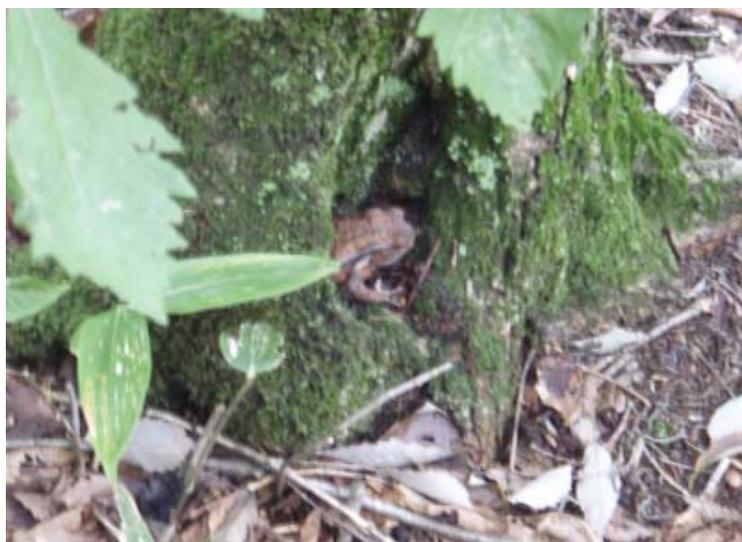


宝島(注意:焼き肉屋ではない)に上陸(実は陸続き)。伝説の海賊王ゴールド・ロジャーの残した宝を探し出すのじゃー！





海賊団は上陸後、宝の在りかを探すのであった。



木の穴に何かあるぞー！！ なんだ！カマガエルでねーか！



ガマガエル・毒キノコ・ウルシの木と、毒だらけの島であった。「♪会～津 磐梯山は～、宝の～山よ～♪」は、伝説なのか？



最後に記念写真「皆の者！パドルをかかげるのじゃー！」「おー！」でも、残念！暗く写ってしまった。Y副長のスライドDVDをお楽しみに。



「全艇！速やかに帰港せよ！」「そーれ！・エンヤトット！・エンヤトット！」



カヌー訓練終了！「ありがとうございました」

国立磐梯青少年交流の家に到着



さっそく、入所式です。いつもは、雪景色であり。この入り口前の広場は、バスケットコートだった、



デンコーチ任命式。長:「ちゃんと奉仕するのだぞ」だが、この2名+隊付き2名には、最終日にM副長のカミナリが落ちたのであった。



野外炊飯の準備。今晚のメニューは、「山賊カレー」と「山賊ミネストローネスープ」である。

見事に炊き上がったご飯。H副長曰く「カニの足跡」「うん？それを言うなら。カニの穴でないかい？」

外は、雨が降り始めました。



右より「カブ提灯」・「カッパ提灯」・「ボーイ隊提灯」である。雨で湿気てしまった。



カブ隊：「いただきまーす！」



ボーイ隊：「いただきます！」



リーダーたち：「美味しゅうございます」



Y副長の体に、セミの幼虫が取り付き、ミンミンゼミが孵化してしまいました。名前は「子分のタツ」だそうだ。



夕食時に、雨は強まり、落雷も激しくなってきたので、テントでの宿泊を取り止めて、急遽、キャンプ管理棟に非難して宿泊することにした。山小屋風ロッジで、全員(16名)で雑魚寝である。でも、フンやトイレもあって、外の嵐も気にならず快適な夜をし過ごすことができた。スカウトたちも、カヌー疲れと安心感もあって熟睡(約1名+リーダー・デンコーチを除く)です。青少年の家の担当者は「みなさんは、ボーイスカウトだから、これくらいの雨や落雷は大丈夫でしょうが・・・」と言っていたが、ボーイスカウトは、危険な事や、冒険はやっているが、万全な安全対策を行ったうえで企画・実行している。「安全はすべてに優先する」のである。無理をしてまでも活動は行わない。でも、父兄の方々には心配されたであろう。1日目無事終了。